

# 内訳書作成システム Ver.6 で内訳書ファイルを保存するときの注意点

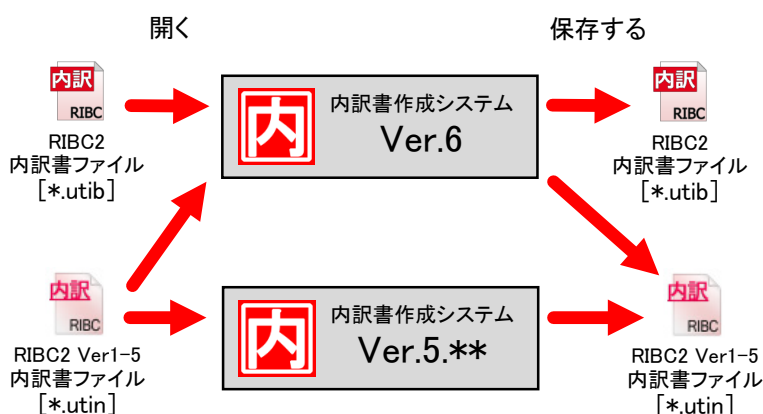
内訳書作成システム Ver.6 で内訳書ファイルを保存する場合、新旧 2 種類の保存形式を選択することができます。新しい保存形式を選択して保存したファイル（拡張子\*.utib）は、Ver.5.10 以前の内訳書作成システムでは開くことができません。保存した内訳書ファイルを他のパソコンでも開けるようにするときは、ファイルの保存形式に注意してください。

<注>以下の文章は「営繕積算システム RIBC2 内訳書作成システム操作マニュアル Ver.6」の「内訳書ファイルの保存形式について」（P.63～64）の引用です。文中の参照頁は、上記のマニュアルを示します。

## 内訳書ファイルの保存形式について

a) RIBC2 の内訳書ファイルには、2 種類の保存形式があります。

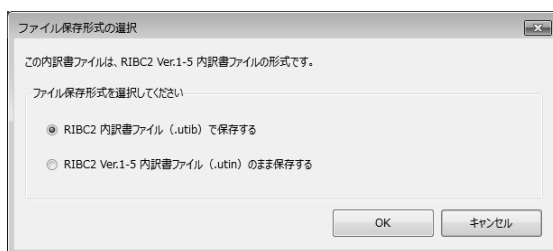
- [RIBC2 内訳書ファイル (\*.utib)] は、Ver.6 から標準となる保存形式です。Ver.5.10 以前の RIBC2 内訳書作成システムでは、このファイルを開くことはできません。
- [RIBC2 Ver1-5 内訳書ファイル (\*.utin)] は、Ver.5.10 以前の RIBC2 内訳書作成システムでもファイルを開くことができますが、[「新たな追加の工事」の費用を計算する場合 P.250](#) を実行すると、この形式でのファイル保存はできません。



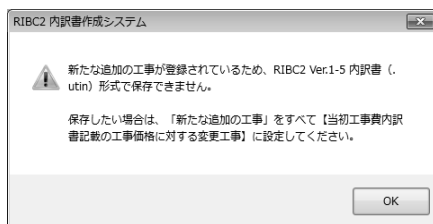
b) 保存する内訳書ファイルの保存形式と保存方法により、以下の動作が行われます。

保存ファイル	新しい保存形式	Ver.5.10 までの保存形式
保存方法	[RIBC2 内訳書ファイル (*.utib)]	[RIBC2 Ver1-5 内訳書ファイル (*.utin)]
上書き保存	新しい保存形式の内訳書ファイルで保存されます。	ファイル保存形式を選択する画面が表示されます。*1（初期設定では、新しい保存形式が選択されています。）
名前を付けて保存	[ファイルの種類] ボックスでファイル保存形式を選択することができます。*2（初期設定では、新しい保存形式が選択されています。）	[ファイルの種類] ボックスでファイル保存形式を選択することができます。（初期設定では、新しい保存形式が選択されています。）

\*1 [RIBC2 Ver1-5 内訳書ファイル] 形式のファイルを上書き保存すると以下の画面が表示されます。



\*2 以下のメッセージが表示された場合、[RIBC2 Ver1-5 内訳書ファイル] 形式での保存はできません。



《ヒント》 [「新たな追加の工事」の設定](#)については、P.250 を参照してください。

c) 複数の内訳書ファイルを一括処理で変換するときは、[内訳書作成コンバータ](#) P.282 を実行します。